

製造業におけるIoTサービス「OMNIedge」の海外対応を開始 ～グローバルSIMに対応した新サービス～

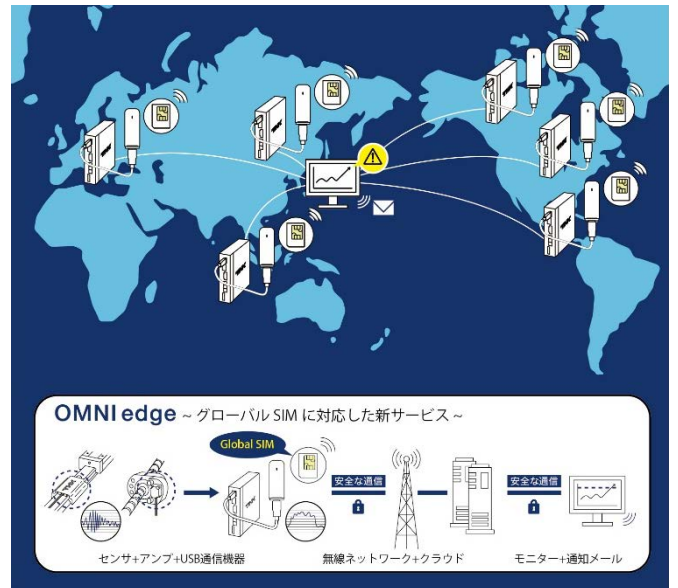
THK株式会社(東京都港区 代表取締役社長:寺町 彰博、以下、THK)は、製造業向けIoTサービス「OMNIedge」(オムニエッジ)のサービス範囲拡充の一環として、2021年2月3日よりグローバルSIMの対応を開始します。

「OMNIedge」は、2020年1月にサービスを開始した、通信網を使って機械要素部品の状態を数値化し、予兆検知を実現するシステムです。第一弾としてLMガイドに向けたサービス、第二弾はボールねじへの対応、そして第三弾として、今後需要増が見込まれる回転部品の無償トライアルを実施中です。

「OMNIedge」を導入いただいているお客様においては、自動車部品をはじめ、食品や素材メーカーなど、海外にも工場を構える企業が過半数を占めています。それらのお客様が共通して「OMNIedge」に期待されているのは、日本国内のみならず、自社の海外工場でも状態診断、予兆検知がおこなえることです。加えて、コロナ禍で実際に海外へ出向いての現場確認が難しくなり、リモートで確認したいという声が多く寄せられています。そこでTHKは、「海外でも日本と同じ生産ラインが稼働しており、日本にいながらにして、海外での設備保全環境を日本と同レベルまで引き上げたい」というお客様のご要望にお応えすべく、海外の通信網を使って「OMNIedge」をご利用いただけるグローバルSIMの対応を開始いたしました。

グローバルSIM対応サービスは、「自社の海外工場でも日本国内と同様にIoTプラットフォームを使って部品の見える化を促進させたい」とお考えのお客様に、ぜひご利用いただきたいサービスです。対応地域として、まずはアメリカ、タイ、インドネシア、中国の4か国からスタートし、その後、日系企業が工場を有する国々(メキシコ、東南アジア諸国など)へと範囲を拡大していく予定です。

THKは今後も導入ユーザーからいただく多くのご評価とご要望を反映しつつ、ユーザーにとって最適なソリューションサービスの拡大を図り、製造現場の持続的な生産性向上に貢献してまいります。



特長

● 日本から海外工場の設備保全が可能に

海外工場におけるLMガイドやボールねじをはじめとした機械要素部品の見える化を、日本にいながらにして実現します。日本から各国の工場をモニタリングすることで、生産ラインの保管理が現地任せになってしまう事態を避けられます。また、日本の国内工場と海外工場を同一画面でモニタリングしながら、装置の状態を比較することも可能です。

● 明瞭な価格設定

海外各国にて1装置 月額10,000円※、通信キャリアの変更や現地での煩雑な設定なしでご利用いただけます。

※センサ、アンプなどの機器貸与費、通信費、アプリケーションの使用料など全て込み。

※日本国内から海外への輸出費用はお客様負担となります。

● アプリ画面表示は3言語対応

現地でのモニタリング実施も想定し、アプリは日本語、英語、中国語(簡体字)、3言語での表示切替が可能です。

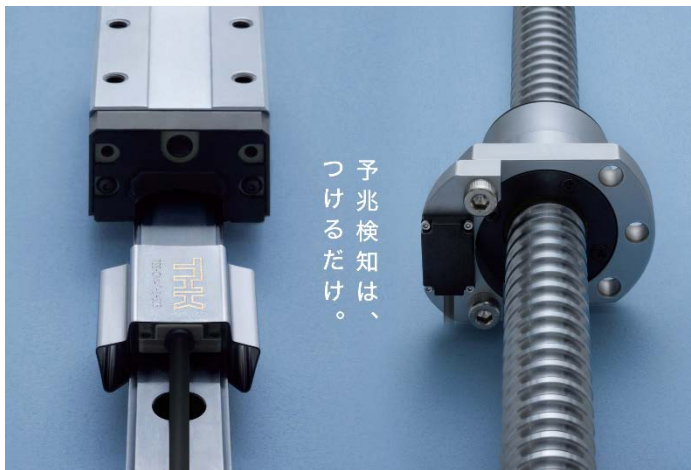
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

THK株式会社 マーケティングPR部 担当:中川 / 石川 TEL:03-5730-3845 E-mail: thk-sp@thk.co.jp

製造業におけるIoT サービス「OMNIedge」

● サービス概要

「OMNIedge」は、機械要素部品にセンサを取り付け、「THK SENSING SYSTEM」を活用し、独自のアルゴリズムによって収集したデータを、安全な通信網を介して数値化、解析することで状態診断、予兆検知を実現するシステムです。また、センサ、アンプ、通信機器一式を通信費込みで提供するパッケージ型サービスで、「簡単」「安全」「初期コストゼロ」を実現しました。



ポンプ、モータ、コンベア、ファンなどの回転部品



Pump



Motor



Conveyor



Fan

● 利用料金

海外対応のグローバルSIMを利用する場合：1装置 月額 10,000 円（2年契約）

● 対象国

【第一弾】アメリカ、タイ、インドネシア、中国

● 出荷開始

2021年2月末より開始

● 「OMNIedge」紹介WEBサイト

<https://www.thk.com/omniedge/jp>

● 「OMNIedge」イメージ図



※グローバル対応では各国毎に最適な回線を選定します。

記載内容は、改良のため予告なしに変更されることがあります。

「OMNIedge」は THK 株式会社の登録商標です。